

令和5年度 総合型選抜

試験問題

9時00分 — 11時00分

地域デザイン科学部志願者（建築都市デザイン学科）

造形実技

〔注意〕

1. 開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
2. 解答用紙は3枚、下書き用紙は2枚ある。「受験番号」は、すべての解答用紙および下書き用紙の受験番号欄に忘れずに記入すること。
3. この冊子には問題が2つある。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあった場合は、申し出ること。
4. 解答は、必ず解答用紙の所定の位置に記入すること。第1問は解答用紙(その1)、(その2)に、第2問は解答用紙(その3)に解答すること。
5. 鉛筆および消しゴムは貸与のものを使用すること。
6. 貸与された鉛筆および消しゴムは持ち帰らないこと。

第 1 問

母線の長さが等しく頂点が同じ位置にある 2 つの円錐が、図のように接して置かれている。円錐 A を、頂点を中心として円錐 B の円錐面上を滑らないように一周転がすとき、以下の問 1、問 2 に答えなさい。

問 1

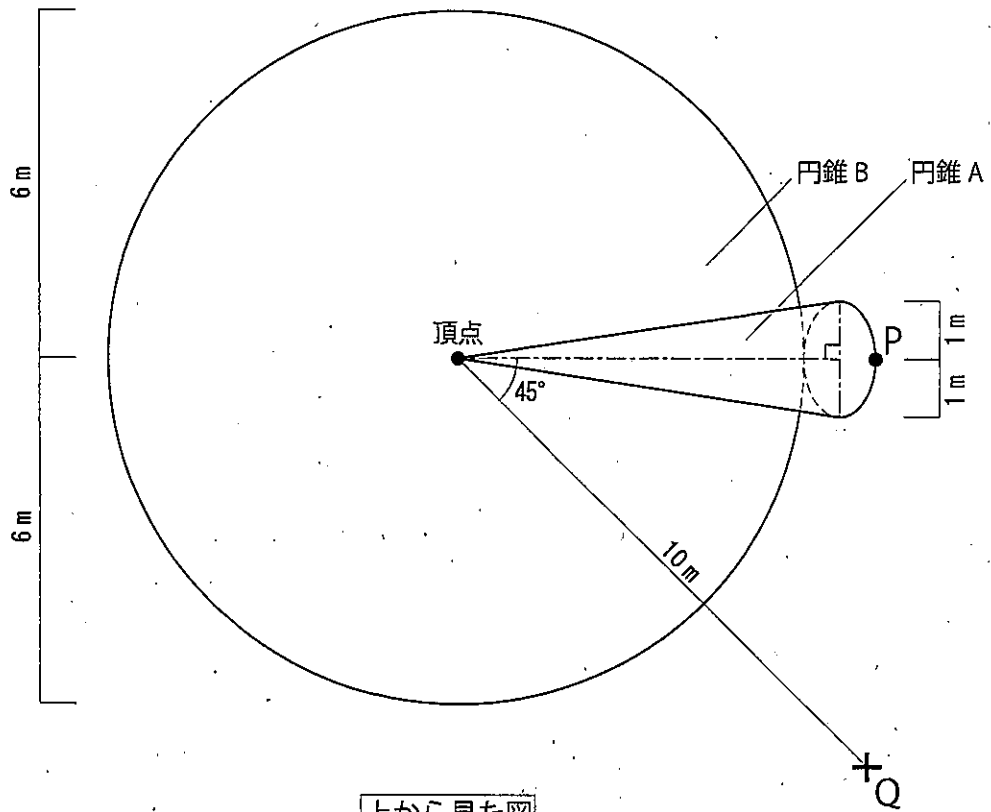
上から見たときの点 P の軌跡を描きなさい。なお、解答用紙には円錐 B を上から見た図が描かれている。

問 2

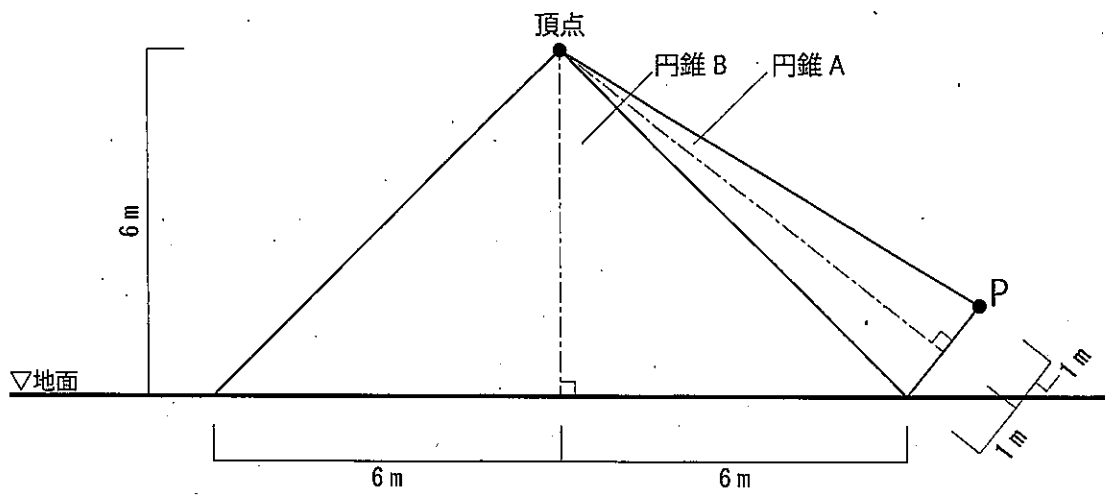
点 P と円錐 B の頂点を結ぶ線分が生成する曲面の形を、下記の条件に従って、解答用紙の枠内いっぱい描きなさい。

条 件

- ① 「上から見た図」に示された Q 地点の高さ 10m の位置から見下ろしたときに見える曲面の全体像を描くこと。
- ② 曲面の形が良く分かるように、模様をつけること。
- ③ 定規、コンパスの類は用いず、黒鉛筆で描くこと。
- ④ 手元にある紙を、切ったり折ったりして立体を作らないこと。



上から見た図



正面から見た図

第2問

次頁に示す図は、地域に開かれた緑豊かな大学キャンパスの庭園内にある休憩小屋である。この小屋は、かつて喫煙スペースとして設置されたものであるが、健康増進法の施行に伴うキャンパスの禁煙化によって当初の役割を失った後は、利用される機会が減少し半ば放置された状況にある。この小屋を対象に、大学生や地域住民の利用を目的とした新たな役割を与えると共に、空間の活用方法を構想し、その空間の様子を解答用紙の枠内いっばいに描きなさい。なお、以下の小屋の現況を参照すると共に、①～⑩の条件を満たすように描くこととする。

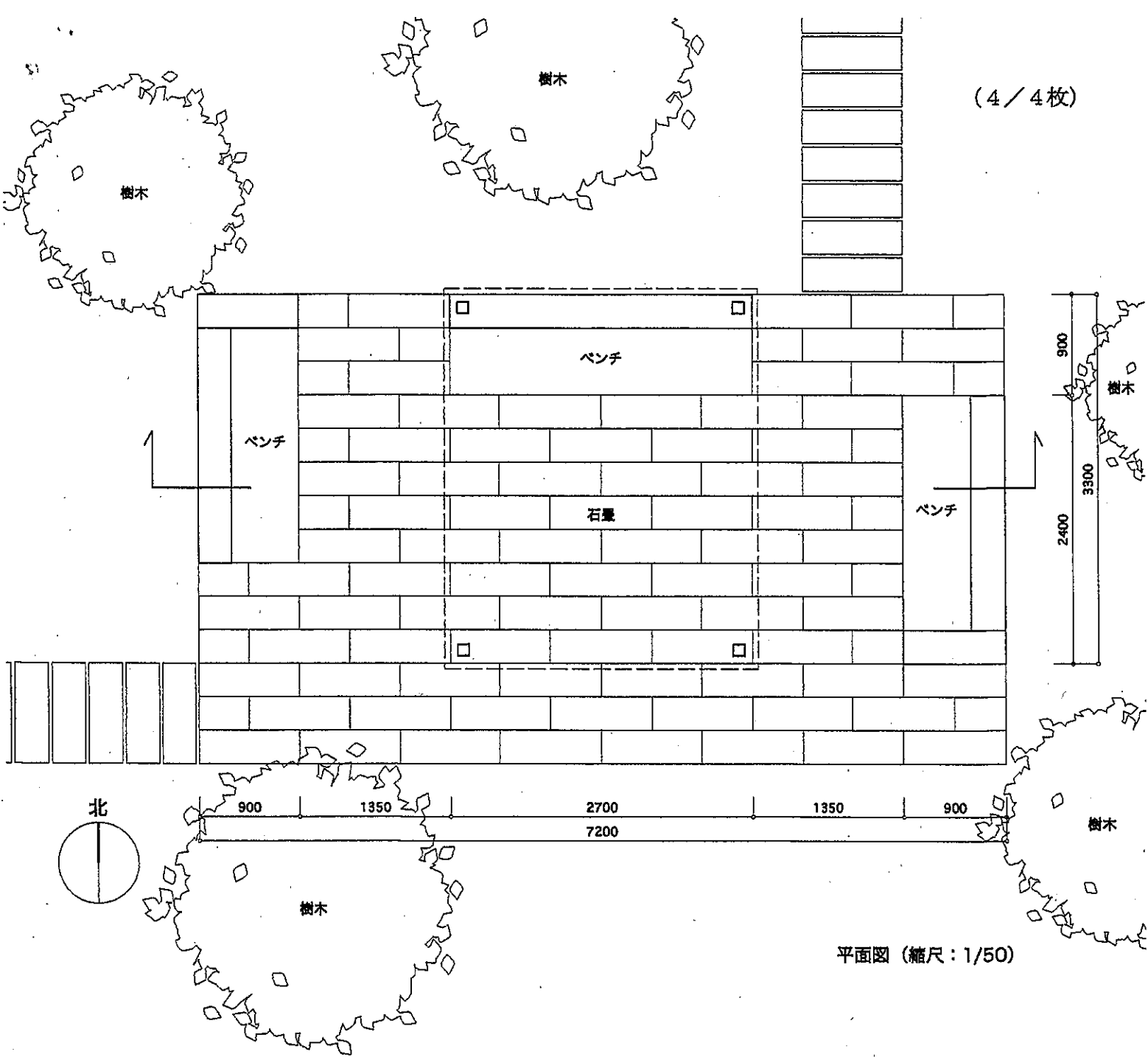
小屋の現況

- ・ 周囲には近接する建物は無く、日当たりの良い開けた場所にある。
- ・ 定期的な清掃が行き届いていない。
- ・ 素材は以下の通りとする。
 - 石畳，ベンチ：凝灰岩
 - 柱，梁：鋼材（錆び止め塗装済み）
 - 屋根：半透明ポリカーボネート板
- ・ 図面に示されていない情報は自由に想定して良い。

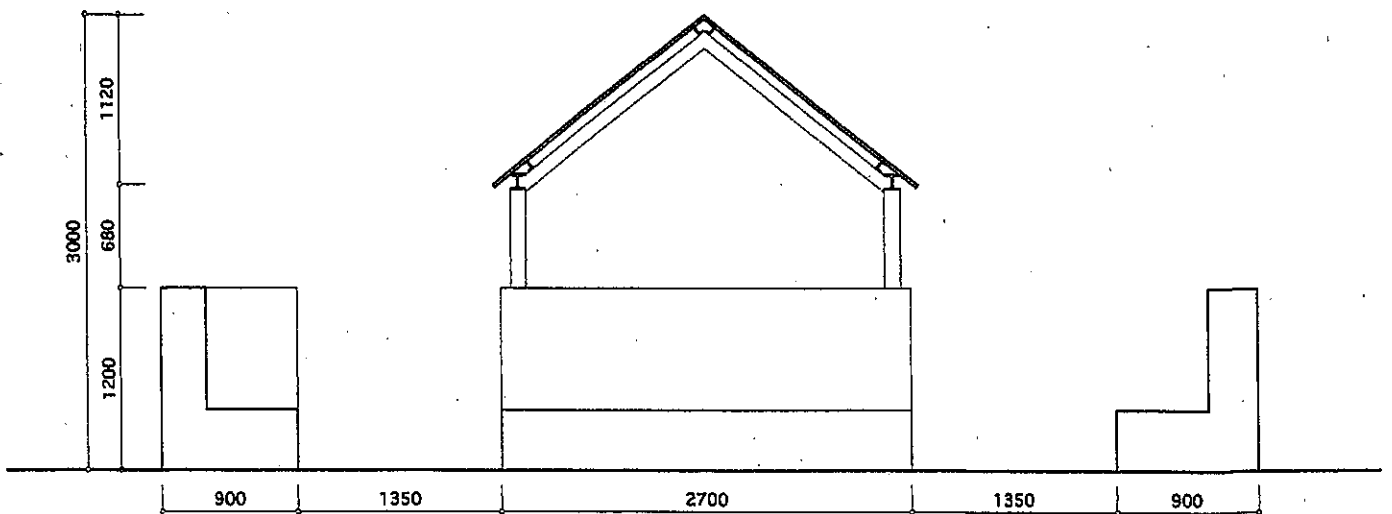
条 件

- ① 休憩小屋，ベンチ，石畳および周囲の樹木は移動・除去せず，必要と思われる屋根，壁，家具・什器の類をデザインし，既存の状況に対して組み合わせることにより，一体的な空間として構想すること。
- ② 想定した小屋の役割に応じて，利用者が快適に過ごすための環境的な配慮を行うこと。
- ③ 自身の構想が説明できるように，空間の様子を立体的に描くこと。
- ④ 平面図，立面図，断面図などの図も描くと良い。
- ⑤ 大学生や地域住民などの利用者を計2名以上描くこと。
- ⑥ おおまかな寸法を書き入れること。
- ⑦ 使用する素材の質感を表現すること。
- ⑧ 新たに想定する小屋の役割および空間の活用方法を文章で説明すること。
- ⑨ 活用方法と空間との対応関係を文章で説明し，説明が図のどの部分と対応するか矢印で指し示すこと。
- ⑩ 定規，コンパスの類は使用せず，色鉛筆で着彩すること。

(4/4枚)



平面図 (縮尺: 1/50)



断面図 (縮尺: 1/50)

※平面図中の矢印は断面図の切断位置と描写の向きを示す
※図中の数値の単位はミリメートル (mm) である